

## ハイデルベルグ社は紙器印刷市場の拡大に対応し Boardmaster のさらなる用途拡大を目指す

先の DRUPA で展示された HEIDELBERG のボードマスターは現在 ヴィーズロツホ工場にデモ機として設置されているが、その先駆的な革新技術と共に BFT Group とパートナーシップを結んだ事が大きな成功の要因となっている。

<https://www.youtube.com/watch?v=OWdzihgSZiCE>

BFT  
Simone Bonaria



Heidelberg 社は Boardmaster の市場への投入が成功を収めた今、インラインシステムによるフレキソ印刷で幅広い紙器印刷へのニーズに対応するための準備を進めている。

Heidelberg のパッケージ部門の責任者、Christian Steinmassl 氏はこう述べた。  
” グローバル市場で増えているニーズは、持続性のある製品で費用対効果に優れ、

又リサイクルや堆肥化が可能な紙素材による包装なので、我々にとって大きな可能性を示す、魅力ある市場なのです。”

” 我が社のボードマスター ウェブ Flexo 印刷システムは、600m/ 分の速度で水性印刷、バリヤコーティング等々で 90% の稼働効率が達成出来るとし、更に加えて DRUPA 後の現在、ヴィーズロツホのプリントメディア センターに、顧客毎のニーズに対応する為の数種類のオプションを備えたデモ機を設置しており、それによる様々な自動化システムや検査機能を見て頂く事が出来、印刷巾は 850mm から 1650mm の間で 4 種類の設定が可能になっています。”

このシステムの開発は、ユーザーから求められるコスト削減に関するプレッシャーや品質、運用上の信頼性、大きな投資に見合う性能などの厳しい要求に立ち向かうという大きなチャレンジでした。 このシステムは USA において既に稼働していますが、我々はこの受注に大いに勇気づけられたが、引き続き世界中から引き合いが届いていると Steinmassl は語っているが、そうしたユーザーの多くは食品や飲料用パッケージの印刷に大判のオフセット印刷機によって行っている。 Boardmaster では全ての装置が、自動紙継ぎによるノンストップの稼働で最大限の生産効率を約束します。これが意味する事は従来一般的な工程に比較して、総体的なメンテナンスコストが 50% 削減出来るという事であり、最高度の自動化とシンプルな取扱い手順によって、熟練したスタッフを必要としないだけでなく、その人数を減らす事も可能になるのです。

## パートナーシップ HEIDELBERG - BFT Group

DRUPA に展示されたボードマスターには BFT グループが開発した自動インキング・洗浄システムとカーボンファイバーのドクターチャンバーが装備されたが、その説明の為に創業者であり、開発責任者の2人である Alberto Ferrara と Simone Bonaria 氏が HEIDELBERG のサポートメンバーとして期間中立ち会った。

### Heidelberg との協業が BFT の Alberto と Simone 氏の経験と今後にもたらした事

この実に野心的な Heidelberg 社の事業に技術面でのサポートを行った BFT の2人にとってはとても刺激的な経験となったと、以下の様に述べた。” Drupa 期間中ブースを訪れた人々がみな、この印刷機の今までにないコンセプトに大きな興味を示すのを肌で感じる事が出来たが、それは Boardmaster の革新的技術とその可能性を実感したからだと思います。”

来場者にとって最大の関心事は、色替えが完全に自動化されていると同時にその速度についてであったがこれを可能にしているのが、BFT の自動インキング・洗浄システムによって管理されている事であり、この事によって作業工程が単純化されるだけでなく、生産効率の向上と同時に印刷品質の向上にも寄与しているのです。また BFT のインクシステムにとってのキーとなる要素というのが、実はカーボンファイバーのドクターブレード チャンバーなのです。



このチャンバーにはメインボードから制御される自動エア圧管理システムが働き、ブレードのアニロックスに対する接圧は、その摩耗に従い常に一定で初期に設定された最適値になるようコントロールされるシステムになっています。



Heidelberg 社のこの重要なプロジェクトに協力した経験が BFT にとっては、革新技术を生み出し問題解決する能力を示す事が出来た機会となり、Drupa の訪問者から得た好意的な反応でこれまでの努力の方向性が正しかったと知る事ができ今後さらにフレキシ印刷分野の発展に寄与する技術の開発努力を続けるという動機付けになったのです。

### この有名なドイツ企業と BFT が協業する事になったきっかけは何ですか？

我々が Heidelberg 社と協力関係を築けたのは同社が American Package Group に納入していた機械のレトロフィットを担当した事で、当初印刷ユニット1台分だけのインキング・洗浄システムだったのが、その成果をみて、その印刷機だけでなく、他の工場の同様な設備の改造もしたのですが、その後 Heidelberg 社から新台の納入に際しても BFT システムを指定されるようになり、これがハイデル社との始まりで、その成果から Boardmaster 開発の為にパートナーシップを結ぶ事になったのです。

### 今後ハイデル社との協業関係の中で、ボードマスター以外の分野においてもですか？

オフセットの市場でも特にコーティング分野は興味がありますが、当面我々が目指しているのは、Boardmaster がより完成度の高いアイテムを揃える為の協力を行う事で、例えば最新の開発である刷版の自動インライン洗浄システムはロングランの工程では、印刷品質の安定化や高い次元での生産効率を維持する上で、欠かせない装置となると考えています。これらの製品の開発を通して、我々が目指すのはユーザーのニーズに応えられる最先端の技術開発と同時に Boardmaster が自動印刷機マーケットでのゆるぎないリーダーになるよう協力する事なのです。